

## 介護保険サービス事業所調査（案）

区では、令和5年度の「中央区高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の策定に向けて、介護保険サービス事業所が提供するサービス内容や医療と介護の連携などの実態と課題を把握するため、介護保険サービスを提供している区内の事業所を対象に、本調査を実施します。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年10月 中央区

### 調査について

- ・この調査は、区内の介護保険サービスを提供している全事業所にお送りしています。
- ・この調査は無記名方式で行います。回答者が特定されることはありません。
- ・調査結果は、区の高齢者施策の推進のために利用され、その他の目的で使用されることはありません。
- ・この調査は12ページ、計33問です。

### ご記入にあたってのお願い

- ・回答は、サービスの管理者またはそれに準ずる方がご記入ください。
- ・鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- ・回答は、あてはまる番号に○をつけてください（一部の設問は数字を記入します）。
- ・「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- ・調査票は令和4年10月1日現在でご記入いただき、11月9日（水）までに同封の返信用封筒に入れて投函してください（切手は不要です。）。
- ・この調査票は郵送でお送りしていますが、パソコン、スマートフォンからも回答可能です。なお、パソコン、スマートフォンから回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

※パソコン、スマートフォンからの回答には下記のID、パスワードの入力が必要になります。

ID :

パスワード :

QRコード

（IDは無作為に配布していますので、個人が特定されることはありません。）

<https://survey-z.com/wix/p2013854759.aspx?setting=1>

### 【問い合わせ先】

#### ★調査の目的・内容について

中央区福祉保健部介護保険課管理係 TEL 03-3546-5642

#### ★調査票の書き方やインターネット回答方法、同封物の不足について

株式会社生活構造研究所 TEL 000-000-0000(フリーダイヤル)

受付時間 午前10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

（この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。）

## 貴事業所について

問1 貴事業所の所在地はどちらですか。(○は1つ)

- |         |                      |         |
|---------|----------------------|---------|
| 1. 京橋地域 | 2. 日本橋地域 (八重洲一丁目を含む) | 3. 月島地域 |
|---------|----------------------|---------|

問2 令和4年10月1日現在、貴事業所が指定(許可)を受けているサービスすべてに○をしてください。(○はいくつでも)

- |                                  |                          |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 居宅介護支援                        | 2. 訪問介護                  |
| 3. 訪問入浴介護                        | 4. 訪問看護                  |
| 5. 訪問リハビリテーション                   | 6. 居宅療養管理指導              |
| 7. 通所介護                          | 8. 通所リハビリテーション           |
| 9. 短期入所生活介護                      | 10. 短期入所療養介護             |
| 11. 福祉用具貸与                       | 12. 特定福祉用具販売             |
| 13. 特定施設入居者生活介護                  | 14. 認知症対応型通所介護           |
| 15. 認知症高齢者グループホーム (認知症対応型共同生活介護) |                          |
| 16. 夜間対応型訪問介護                    | 17. 小規模多機能型居宅介護          |
| 18. 地域密着型特定施設入居者生活介護             | 19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 |
| 20. 看護小規模多機能型居宅介護                | 21. 介護予防訪問入浴介護           |
| 22. 介護予防訪問看護                     | 23. 介護予防訪問リハビリテーション      |
| 24. 介護予防居宅療養管理指導                 | 25. 介護予防通所リハビリテーション      |
| 26. 介護予防短期入所生活介護                 | 27. 介護予防短期入所療養介護         |
| 28. 介護予防福祉用具貸与                   | 29. 介護予防特定福祉用具販売         |
| 30. 介護予防特定施設入居者生活介護              | 31. 介護予防認知症対応型通所介護       |
| 32. 介護予防認知症対応型共同生活介護             | 33. 介護予防小規模多機能型居宅介護      |
| 34. 特別養護老人ホーム<br>(介護老人福祉施設)      | 35. 介護老人保健施設             |
| 36. 介護療養型医療施設                    | 37. 介護医療院                |
| 38. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護             | 39. 介護予防支援               |
| 40. 予防訪問サービス<br>(ホームヘルプサービス)     | 41. 予防生活援助サービス           |
| 42. 予防通所サービス<br>(デイサービス)         |                          |



## 人材確保・人材育成等について

問6 貴事業所は、介護職員の不足を感じることはありますか。(○は1つ)

- |        |
|--------|
| 1. はい  |
| 2. いいえ |

【問6-1は、問6で「1」と答えた事業所におうかがいします】

▶問6-1 不足している職種は何ですか。(○はいくつでも)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 介護職               | 2. 看護職              |
| 3. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 | 4. ケアマネジャー(介護支援専門員) |
| 5. その他〔具体的に： _____〕  |                     |

【すべての事業所におうかがいします】

問7 昨年1年間の就職・離職状況を教えてください。(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	常勤	非常勤
①離職者総数	人	人
②離職率	%	%
③就職者総数	人	人

【問7-1は、問7で離職者が1人以上いると答えた事業所におうかがいします】

▶問7-1 把握している範囲での離職理由について教えてください。(○はいくつでも)

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1. 結婚                  | 2. 出産・育児           |
| 3. 家族等の介護・看護           | 4. 労働時間・勤務体制が負担    |
| 5. 収入が少ない              | 6. 家族の転勤・転居        |
| 7. 専門性や能力を十分に発揮・向上できない | 8. 将来のキャリアが見込めない   |
| 9. 新しい資格を取得した          | 10. いろいろな職場の経験希望   |
| 11. 起業・開業              | 12. 心身の不調、高齢       |
| 13. 職場の人間関係に問題         | 14. 利用者・家族との関係に問題  |
| 15. 法人・事業所の理念や運営に不満    | 16. 人員整理、勧奨退職、事業不振 |
| 17. その他〔具体的に： _____〕   |                    |

【すべての事業所におうかがいします】

問8 離職者が出ない工夫を行っているものがあれば、教えてください。(○はいくつでも)

1. 労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を考慮
2. 時間外労働時間の削減
3. 年次有給休暇等の取得促進
4. 職員の健康教育や身体的健康対策（生活習慣病対策等）
5. 感染症予防対策
6. 職員間における、いじめやハラスメント等への体制整備
7. メンタルヘルス対策
8. 育児・介護等の休暇制度の活用奨励
9. 子育て支援（託児所を設ける、保育費用の助成など）や介護支援
10. 多様な勤務形態（短時間勤務、短日勤務、交代制勤務など）の導入
11. 新人の指導担当・アドバイザーの配置（メンター制度など）
12. キャリアパスの作成と実施
13. 能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映
14. キャリアに応じた給与体系の整備
15. 経営者や役員との意見交換がしやすい職場環境づくり
16. 定期的なミーティング等の実施による、風通しのよい職場環境づくり
17. 福利厚生充実
18. 情報通信機器を活用した業務の効率化、省力化
19. その他〔具体的に： ]
20. 特に行ってない

問9 貴事業所では、人材育成・教育制度を導入していますか。(○は1つ)

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 1. 導入している | 2. 導入の準備をしている |
| 3. 導入を検討中 | 4. 導入していない    |

【問9-1は、問9で「1」と答えた事業所におうかがいします】

→問9-1 その人材育成・教育制度は何ですか。(○はいくつでも)

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1. 職員の資格取得に関する研修                                  | 2. 新入職員の技能習得      |
| 3. 介護・看護技術に関する研修                                  | 4. 医療連携のための研修・交流会 |
| 5. 先進事業所との情報交換、職員派遣                               | 6. IT技能の習得        |
| 7. メンタルケア等の健康管理講習                                 |                   |
| 8. その他〔具体的に： <span style="float: right;">]</span> |                   |

【すべての事業所におうかがいします】

問 10 貴事業所では、どのような外国人介護人材を受け入れていますか。在留資格ごとに教えてください。(数字を記入)

	常勤	非常勤	パート・アルバイト
①在留資格「特定活動」(EPA)	人	人	人
②在留資格「介護」	人	人	人
③在留資格「技能実習」	人	人	人
④在留資格「特定技能」1号	人	人	人
⑤外国人留学生	人	人	人
⑥その他、日本人や永住者等の配偶者等	人	人	人

問 11 貴事業所の今後の外国人介護人材の活用の意向を教えてください。(○は1つ)

1. 現在受け入れており、今後もさらに受け入れて行く
2. 現在受け入れており、今後のことは検討中
3. 現在受け入れているが、今後受け入れるつもりはない
4. 現在受け入れていないが、今後は受け入れて行く
5. 現在受け入れておらず、今後のことは検討中
6. 現在受け入れておらず、今後も受け入れるつもりはない

【問 11-1 は、問 11 で「3」または「6」と答えた事業所におうかがいします】

▶問 11-1 今後受け入れるつもりがないとした理由について教えてください。

(○はいくつでも)

1. コミュニケーション(日本語能力)の問題があるから
2. 身体介護・生活支援の技術の問題があるから
3. 受入れ前・受入れ後の事業所・施設での対応がわからないから
4. 育成プログラムが未整備であるから
5. 受入コストを捻出できないから
6. 文化の違いや生活習慣の違いがあるから
7. その他〔具体的に： \_\_\_\_\_ 〕

## I C T 機器や介護ロボットの活用について

【すべての事業所におうかがいします】

問 12 貴事業所では、どのような業務でどのような I C T 機器（情報通信機器）を活用していますか。業務ごとに活用している機器に○をしてください。（○はいくつでも）

	パソコン	携帯電話	スマートフォン	タブレット端末	その他
利用者情報等の共有					
報酬請求との連携					
ケアプランの作成					
オンライン会議					
科学的介護情報システム (LIFE)					
その他					

【問 13 は、施設・居住系サービス事業所におうかがいします】

問 13 貴事業所では、ロボット技術を応用し、利用者の自立支援や介護者の負担の軽減に役立つ介護機器（介護ロボット）をどのような時に活用していますか。（○はいくつでも）

- |                      |         |
|----------------------|---------|
| 1. 移乗支援              | 2. 移動支援 |
| 3. 排泄支援              | 4. 見守り  |
| 5. コミュニケーション支援       | 6. 入浴支援 |
| 7. その他〔具体的に： _____ 〕 |         |

## 自立支援・重度化防止について

問 14 貴事業所では、介護予防・日常生活支援総合事業のサービスを提供していますか。（○はいくつでも）

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 訪問型サービスを提供している | 2. 通所型サービスを提供している |
| 3. 提供していない        |                   |

問 15 介護予防・日常生活支援総合事業の課題は何ですか。（○はいくつでも）

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 単価が安く、事業所として取り組むメリットがない |
| 2. 総合事業の制度が理解しにくい          |
| 3. 住民主体のサービスが育ちにくい         |
| 4. サービスの卒業につなげることがむずかしい    |
| 5. 特定の日時や曜日に利用希望者が集中する     |
| 6. サービスの効果測定が難しい           |
| 7. 総合事業のサービスコードが複雑である      |
| 8. 利用者宅までの移動や送迎が課題となっている   |
| 9. 職員のスキルが不足している           |
| 10. その他〔具体的に： _____ 〕      |

## 医療と介護の連携について

問 16 在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。

(1つに○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 十分連携していると思う  | 2. ある程度連携していると思う  |
| 3. 連携が不十分であると思う | 4. ほとんど連携していないと思う |

問 17 医療と介護の連携を進める上で、利用者に関する情報の共有をどのような方法で進めたらよいと思いますか。(○は3つまで)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. サービス担当者会議                 |
| 2. 利用者の療養手帳などの紙媒体の資料         |
| 3. インターネットやICT（情報ネットワークシステム） |
| 4. 訪問等による顔を合わせての共有           |
| 5. 電話による共有                   |
| 6. FAXによる共有                  |
| 7. その他〔具体的に： 〕               |

## 看取り・虐待防止について

問 18 貴事業所が看取りについて、最も重視していることは何ですか。(○は1つ)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 看取りは、自宅では困難と考えている            |
| 2. 可能な限り自宅で行うが、看取りは医療機関で行うべきである |
| 3. 可能な限り自宅で看取りまで行うべきである         |
| 4. 自宅か医療機関か、本人の意思を尊重した看取りが望ましい  |
| 5. 自宅か医療機関か、家族の意向を尊重した看取りが望ましい  |
| 6. その他〔具体的に： 〕                  |

問 19 ACP (アドバンス・ケア・プランニング) を活用したことがありますか。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 活用したことがある | 2. 活用したことがない |
|--------------|--------------|

問 20 ACP (アドバンス・ケア・プランニング) をすすめる上で必要なことはなんですか。

- |   |
|---|
| 1. ACP に関する、利用者・家族をはじめとする、区民啓発を進めること              |
| 2. 早いタイミングからの意向の確認や話し合いを行うこと                      |
| 3. 一度だけでなく、継続的に意向の確認や話し合いをすること                    |
| 4. 日頃から、気持ちを話せる雰囲気や人間関係をつくること                     |
| 5. 本人の意向を尊重し、最期まで意思決定支援を心がけること                    |
| 6. 適切なサービス調整や支援ができる多職種での連携を進めること                  |
| 7. 本人・家族との不一致、家族間の調整にも配慮すること                      |
| 8. その他〔具体的に： <span style="float: right;">〕</span> |

【問 21 は、施設・居住系サービス事業所におうかがいします】

問 21 貴施設の施設運営の課題についてご意見をお書きください。

--

【すべての事業所におうかがいします】

問 22 貴事業所は、高齢者虐待を防止する取組みをしていますか。(○は1つ)

- |        |
|--------|
| 1. はい  |
| 2. いいえ |

【問 22-1 は、問 22 で「1」と答えた事業所におうかがいします】

▶問 22-1 具体的な取組内容を以下にお書きください。

--

## 認知症の方や家族の支援について

問 23 認知症の利用者の状況で実際にあり、大変なことは何ですか。(○は3つまで)

1. 本人や家族が医療機関を受診しない
2. 本人の意思の確認がとれない
3. 家族が認知症であることを認めない
4. 薬の飲み違えがあって、服薬管理ができない
5. 介護サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる
7. 認知症のため適切な介護サービスが受けられない
8. 消費者被害に遭遇したことがある
9. 虐待の恐れがある
10. 本人と家族間で介護の方針が違う
11. 医療的な管理が難しい
12. その他〔具体的に： 〕

問 24 認知症の方の支援にあたり特に必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること
2. 認知症の人を支援するサービスや施設等の社会資源がより増えること
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えること
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. かかりつけ医やケアマネジャー（介護支援専門員）の認知症への理解と対応力が向上すること
6. おとしより相談センター（地域包括支援センター）における認知症支援策がより充実すること
7. 認知症の人の家族支援が充実していくこと
8. その他〔具体的に： 〕

問 25 認知症の利用者の家族への支援として特に必要と思われることは何ですか。

(○は3つまで)

1. 家族の健康状態や介護負担について把握し、対応すること
2. 家族の困りごとや心配ごとなどの相談にのること
3. 本人の状態や介護の方法について情報を提供すること
4. 家族の人同士が集える場（例えば、認知症カフェや利用者の家族の会など）について情報を提供すること
5. 家族に対する生活支援を行うこと
6. 家族に代わって他機関との調整を行うこと
7. 緊急時の受け入れを行うこと
8. その他〔具体的に： 〕

問 26 地域住民の認知症の理解を促進するために特に必要と思われることは何ですか。

(○は3つまで)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 認知症サポーター養成研修の実施</li><li>2. 認知症カフェの実施</li><li>3. 認知症に関する講座の開催など学習機会の提供</li><li>4. 地域住民の活動の支援</li><li>5. 地域の見守りネットワークへの参加</li><li>6. 在宅で生活する認知症の人の家族への相談支援</li><li>7. 在宅で生活する認知症の人に対する介護保険や生活支援サービスに関する情報の提供</li><li>8. その他〔具体的に： 〕</li></ol> |
|--|

## 地域の課題について

問 27 利用者の生活支援をしていて、地域の課題だと思われることは何ですか。

(○は3つまで)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 必要な介護サービスを身近で利用できる事業所が少ない</li><li>2. 相談・支援窓口の認知度が低く、サービスが受けられていない高齢者が多い</li><li>3. 老老介護、8050問題など、支援が難しいケースが増えている</li><li>4. 単身で身寄りのない高齢者が増えてきており、緊急時の対応等が難しい</li><li>5. 高層マンション等の集合住宅では、地域での見守り・支え合いが難しい</li><li>6. インフォーマルサービスを含めた社会資源の情報提供が不足している</li><li>7. その他〔具体的に： 〕</li></ol> |
|---|

問 28 地域課題の解決のため、必要と思われることは何ですか。(○は3つまで)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 不足している介護サービスの提供が可能な介護事業所の誘致</li><li>2. おとしより相談センター（地域包括支援センター）や区との連携強化</li><li>3. 介護をしている家族等への相談・支援の充実</li><li>4. 地域での見守り・支え合いのネットワークの構築</li><li>5. 集合住宅における高齢者の孤立化防止対策</li><li>6. インフォーマルサービスを含めた地域資源の把握と区民への情報提供</li><li>7. その他〔具体的に： 〕</li></ol> |
|--|

## 災害時の対応について

問 29 貴事業所では、地震などの災害が発生した時の対処方法に関して、発生直後の対応、サービスの早期再開や継続的なサービス提供のためのマニュアル等を定めていますか。  
(○は1つ)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 定めている              | 2. 定めていないが、今後定める予定である |
| 3. 定めておらず、今後も定める予定はない |                       |

問 30 貴事業所では、地震などの災害が発生した時の避難や安否確認に関する訓練を実施していますか。(○は1つ)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 事業所で訓練を行っている | 2. 地域の防災訓練に参加している |
| 3. 行っていない       |                   |

問 31 貴事業所では、災害時に備えてどの程度地域と連携していますか。(○はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 地域のまつりや行事に参加することでつながりをつくっている                   |
| 2. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている                          |
| 3. 町会・自治会等の防災訓練に参加している                            |
| 4. 町会・自治会等と災害時における連携に関する取り決めを交わしている               |
| 5. 地域の防災拠点（小中学校など）、避難場所の情報を把握している                 |
| 6. 介護保険や認知症に関するリーフレットを作成して地域に配布している               |
| 7. その他〔具体的に： <span style="float: right;">〕</span> |

問 32 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貴事業所にはどのような影響がありましたか。  
(○は3つまで)

- |   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 利用者に感染者が出た                                     | 2. 事業収益が減った          |
| 3. 感染拡大期にはサービス提供を停止した                             | 4. 新型コロナを理由とした離職者がいた |
| 5. 職員に感染者が出たため、サービス提供体制の維持に苦慮した                   |                      |
| 6. オンラインミーティングツールによる会議・面会が定着した                    |                      |
| 7. モバイル・タブレット端末で利用者情報を共有するようになった                  |                      |
| 8. 感染症対策に努めたことにより、感染症への対応力が向上した                   |                      |
| 9. その他〔具体的に： <span style="float: right;">〕</span> |                      |

問 33 大規模災害が発生した時の対処方法について、課題があればお書きください。

--

—ご協力ありがとうございました—

このアンケート票は 11 月 9 日（水）までに  
同封の返信用封筒に入れ、投函してください（切手は不要です）。